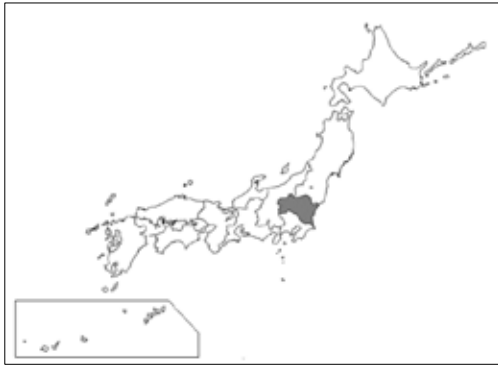


(3) 北 関 東



北関東地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

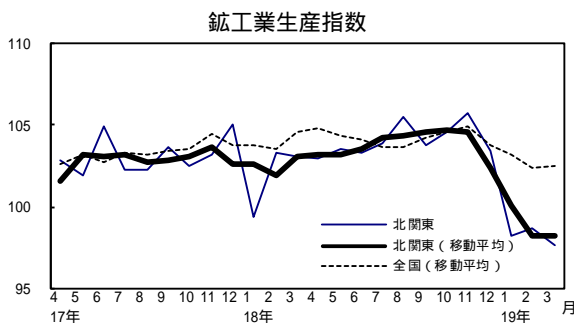
前回からの主要変更点

	前回 (平成 31 年 2 月)	今回 (令和元年 5 月)
景況判断	緩やかに回復	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調
鉱工業生産	持ち直し	弱含み

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は弱含んでいる。

1 - 3 月期には、「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「輸送機械」は、一部工場での生産停止等により、減少した。「汎・生産・業務用機械」は、減少した。「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。



- (備考) 1. 2015 年 = 100、季節調整値。北関東の最新月は速報値。
 2. 全国及び北関東の太線は中心 3 か月移動平均、直近月は 2 か月平均。
 3. 北関東は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10 - 12 月期	1 - 3 月期	1 月	2 月	3 月
石油・石炭、化学、プラ製品	20.1	0.5	4.8	3.9	0.3	1.1
輸送機械	18.3	1.0	11.2	11.1	2.5	0.9
汎・生産・業務用機械	17.1	0.3	11.2	9.9	0.8	4.7
食 料 品 ・ た ば こ	12.1	0.3	-	1.7	0.0	-
電子デバ、電気・情報通信	11.2	1.3	4.9	4.6	1.0	0.2
鉱工業	100.0	0.2	6.1	5.0	0.5	1.1

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い 5 業種。
 2. 1 - 3 月期、3 月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直している。

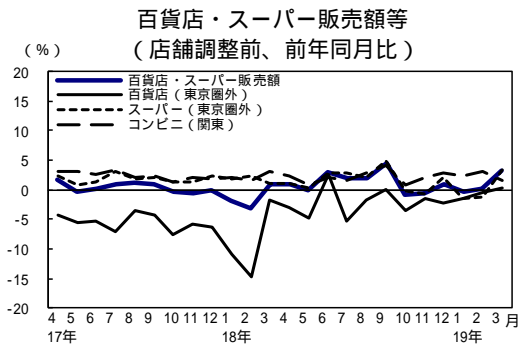
(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比0.9%減、2月は同0.2%増、3月は同0.4%減となった。

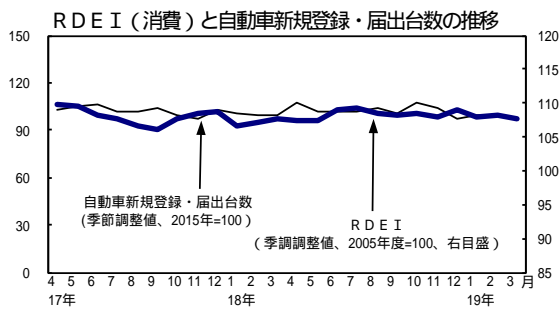
(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1月は、衣料品等の不調により、前年を下回った。2月は、衣料品等の不調により、前年を下回った。3月は、飲食料品等が好調だったことより、前年を上回った。

スーパーは、1-3月期は、衣料品、身の回り品等が不調であったものの、飲食料品が好調だったことにより、前年を上回った。



	2019年1-3月	2019年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.5	0.9	0.2	0.4
百貨店・スーパー(*2)	1.1	0.3	0.1	3.3
百貨店(*3)	0.6	1.6	0.4	0.3
スーパー(*3)	0.2	1.6	1.2	3.3
コンビニ(*3)	2.3	2.4	3.2	1.5
乗用車(*4)	3.5	2.1	0.2	7.0
(季節調整値)(*4)	5.5	0.7	1.7	5.7



(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比

百貨店、スーパーは、関東経済産業局の東京圏外(茨城、栃木、群馬、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

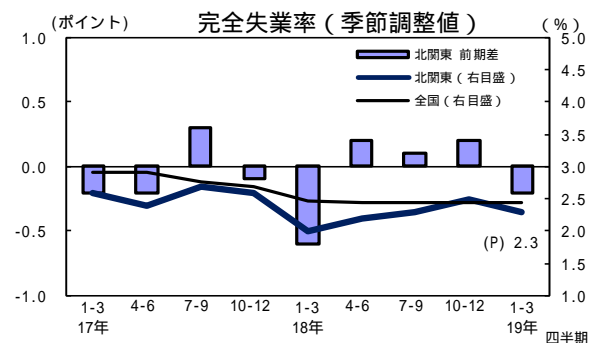
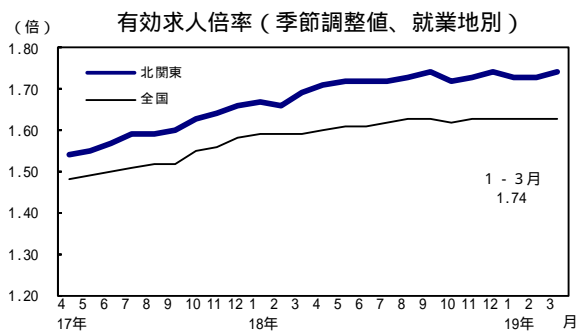
コンビニは、経済産業省の関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。季節性が認められなかったことから原数値と同じ。

2. 1-3月期の値は暫定値。